

眼科に通院歴ある患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療情報等を使って行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この臨床研究は関西医科大学附属病院研究倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、病院長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》 眼科手術患者を対象とした点眼方法の有効性についての研究

《研究機関名・研究責任者》 関西医科大学附属病院 10S病棟 看護師長 松川 久美子

《研究の目的》眼科手術後の患者に対し、従来の点眼方法であるげんこつ法（A群）と点眼補助具使用群（B群）を比較し、安全で確実な点眼方法について検討することを目的としています。

《研究期間》倫理審査承認後～2022年3月31日

《研究の方法》2019年4月1日～2020年10月31日に入院されていた患者さんで、げんこつ法で点眼指導を受けた患者さんと点眼補助具を使用して点眼指導を受けた患者さんの診療記録を確認し、点眼前の手の清潔・点眼薬の選択・点眼薬のふたの置き方・点眼の距離・点眼の位置・点眼の滴下数・圧迫などの項目について比較を行います。

●対象となる患者さん

2019年4月1日～2020年10月31日までに関西医科大学附属病院10S病棟に入院し、自己点眼を実施した患者さん

●研究に用いる情報の種類

情報：診療記録より、下記の情報を確認させていただきます

- 1) 年齢
- 2) 性別
- 3) 既往歴
- 4) 術式
- 5) 診療記録
- 6) 総合機能評価テンプレートの内容（日常生活動作、認知機能障害、気分・意欲）
- 7) ADL
- 8) 家族構成
- 9) 介助者の有無
- 10) 点眼テンプレートの内容（点眼の体位・点眼の選択・点眼の距離・点眼の位置・点眼の滴数・圧迫）

●研究で比較する自己点眼方法について

1. げんこつ法



2. 点眼補助具法



《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での診療情報等の取扱い》

お預かりした診療情報等には匿名化処理を行い、患者さんの氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。

《本研究の資金源・利益相反について》

この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者さんの不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は「関西医科大学利益相反マネジメントに関する規程」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。

*上記の研究に利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

研究責任者 関西医科大学附属病院 10S病棟 看護師長 松川 久美子
〒573-1191 大阪府枚方市新町2丁目3番1号
TEL : 072-804-0101